

75以上高齢者の医療費の無料化を

先進諸国では医療費は窓口負担ゼロが当たり前！

日本の医療制度では、治療費の何割かを患者本人が負担しないと医療が受けられなくなっています。公的医療制度がありながら、通院でも入院でも、3割もの窓口負担がとられる国は、先進国では日本だけです。

OECD（経済協力開発機構）に加入する30か国のうちイギリス、イタリア、カナダ、デンマークなど12か国は窓口負担が原則無料です。有料という国もドイツが3か月約1300円、ポルトガルが受診1回が約300円など少額の定額制です（OECD編著『世界の医療制度改革』）。

医療保険はお金の心配なしに医療を保障するためのもの

公的医療制度は、お金のある・なしにかかわらず、全国民に必要な医療を保障するために、つくられたものです。窓口負担は、無料・低額が当たり前で、お金がないと「治療が受けられない」「重い病気になると治療費が払えなくなる」というのでは制度の意味がありません。

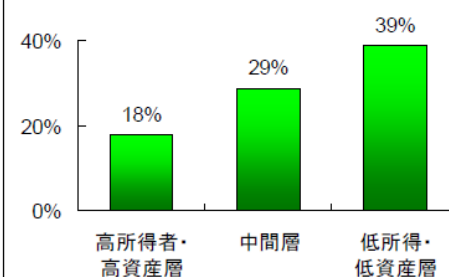
低所得世帯の4割が「具合が悪くとも医者にかかれぬ」

今、年収300万未満の世帯では、4割の人が「具合が悪くとも医者にかかれぬ」など、負担を苦にした受診抑制が深刻化しています。（右図）

窓口負担を軽減し、貧困のために、医療を受けられない人をなくすことは、日本医師会を始め医療関係団体がそろって要求する国民的課題です。

私たちは、先進国では当たり前の窓口負担ゼロの医療制度をめざし、その第一歩として、子どもと高齢者の医療費を国の制度として無料化することを提案しています

「具合が悪いところがあるのに医療機関に行かなかったことがある」



*出所：日本医療政策機構「日本の医療に関する2008年世論調査」2008年6月。「過去12ヶ月以内に、費用がかかるという理由で、医療を受けることを控えたことがありますか」という質問。
高所得者・高資産層：年間世帯収入800万円以上かつ純金融資産2,000万円以上
低所得者・低資産層：年間世帯収入300万円未満かつ純金融資産300万円未満

川北町が今年1月より高齢者の医療費無料化実施

川北町は、後期高齢者医療制度の窓口負担分を今年1月より全額助成することになりました。無料化は、東京の日の出町について全国2番目です。川北町が実施できることを石川県が実施できないはずがありません。60億円で無料化できます。

病院の医療費は、そんなに高くないが、薬代がたくさんかかるので助かるわ。無料化は本当にうれしい！（川北町穴田さん）

高齢者の笑顔はみんなの願い！

高齢者には「多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする」（老人福祉法）べきです。政府や自治体は、「長い間、本当にご苦労さまでした。皆さんのご奮闘のおかげで現在の日本があります。これからは生活に困らないようにします。医療も無料でみますよ」というべきではないでしょうか。その感謝の気持ちが今大事になっているのではないのでしょうか。

石川民医連ニュース

2010年2月20日

920-0848 金沢市京町24-14 TEL076-253-1636

F076-253-1459 メール：kaigo@imir.jp